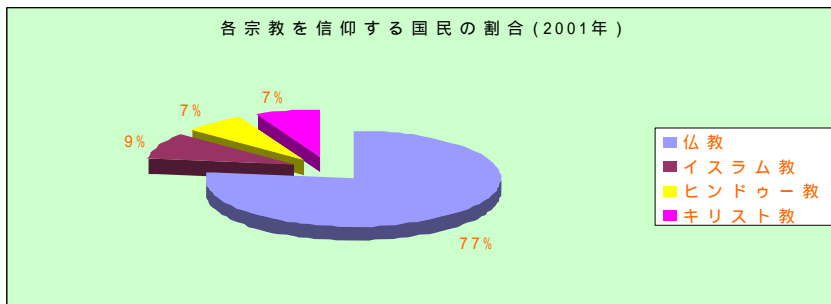


(4) 宗教

スリランカの人々のくらしと深い関係のあるものに宗教があります。宗教は民族とも深い関係があって、いちばん多いのはシンハラ人を中心とした仏教です。仏教徒は全人口の約77%を占めています。

次に、ムーア人を中心としたイスラム教徒で約9%を占め、その次がタミル人を中心としたヒンドゥー教徒で約7%、そしてシンハラ人やタミル人の一部やバーガーを中心としたキリスト教徒が約7%います。



仏教徒は、毎朝ラジオでお経の放送を聞き、自分も一日のお祈りをします。また、毎月の満月の日のポーヤデーには、白い服に着替えて朝から近くのお寺に出かけてお祈りをしたり、お坊さんのお話を聞いたりしています。

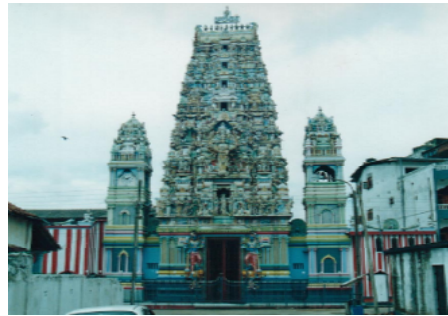


ぶつぞう
仏像



ベイラ湖水上仏教寺院

ヒンドゥー教徒は、毎夕、家の中でヒンドゥー教の神様にお祈りします。また、決められた日には菜食を守り、お祭りの日にはヒンドゥー教の寺院（コービル）に出かけて祈ります。



ヒンドゥー教 寺院

イスラム教徒は、一日5回、決まった時間にお祈りします。男の人は、毎週金曜日に家の近くのモスク(教会)に行ってお祈りします。女性はモスクに入れないきまりなので行きませんが、最近では女性のためのモスクもできているようです。



イスラム教 寺院

キリスト教徒は、毎週、日曜日の朝に、近くの教会に出かけていきお祈りをしたり、牧師さんのお話を聞いたりします。また、毎日、食事の前には、家族そろって神様に感謝のお祈りをします。



キリスト教 教会

これらの宗教の祝祭日は、国の祝祭日として取り入れられており、各宗教ごとに様々な儀式や催しがおこなわれています。